（郵便電報宛）　（本紙六面）　明治二十三年五月廿六日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千六百六十六號
明治廿三年五月廿六日　月曜日
舊曆庚寅四月八日（丁未）
日出午前四時十分　入午後六時四十分
月出午前十時三十二分　入午後
朔望午前九時五十六分
午後十時三十一分
（西曆一千八百九十年）

時事新報の財政始末

財政の事は目下の一問題にして近日に至りては漸く金融切迫の聲を發し其救濟繁とて朝野の所論少なからず畫し天下の人事は其生ずるの日に生ずるにわらずして原因は遠く數年前に在りて存するを常とす本社記者の所見に於ては此原因を明治十年西南の役に歸して爾來財政の沿革を三段に分ち以て今日に立至りし次第を陳べ終りに救濟の策に論及して之を財政始末と題し來る二十九日より數日間の紙上に掲載して讀者の高評を乞はんとす

時事新報定價
時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊せず其代價遞送料廣告料へ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇年前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

美術工藝の源を養ふ可し

明治二十一年我國より海外に輸出したる家具及日用具類は百六十八萬七千餘圓、陶器類及玻璃器類は百三十五萬四千餘圓、何れも一歳の金額なりと云ふ可し或る人の說に此等の輸出工藝品は多くは安直物にして高價の寄繪、彫刻品若くは陶銅漆器等は高の知れたる者なるが如し而して其安直物は必ずしも美術家の考案を要せず其向きの俗商賣が商賣一方を目當として思ひ〳〵の工夫を凝らせば所謂素人好きの品物を得て西洋人中の評判も自から高きを致すを例とす左れば日本の人々が海外輸出品に就き每度美術云々を唱へれども實際巨額の輸賣品は所謂美術家の手を煩はさずして第一支なく出來す可しなと云ふ者あり一應尤もあるが如くなれども其實は決して偏らず國に非凡なる美術家ありて其錦衣を飾り世間の好尚に訴へて當世を風靡するの勢を成せば其模倣熱は知らず識らず國中に浸潤して美術家匠の業と雖も商賣工業下流の職工迄も自然その餘沈を蒙むに至るは即ち美術家の功德として尊ぶ可らざるものなり例へば我輸出品中の提灯、錦畫、蒔畫等に畫ける美術家に其意匠は直に浮世畫家北斎豊國以下の筆が日本社會の風俗を寫して其情景を極めたる趣味餘流に伴ふる故なく別段に有名なる友禪染も今より二百六十年前畫家友禪なる者が歌撰色彩等を工風したるを以て今日其名仔細に明瞭すれば唐式模倣物なりと雖ども猶ほ輸出品の品類にして明瞭鮮麗、大美術家の恩惠を蒙らざるものなし左れば美術品を一種の國產として絕えず其意匠の變化を求め海外諸國人の需要に應ぜんとするには國に幾多の大美術家を生じて妙思逸想の源を養ふと最も肝要なる可きあり即ち工藝美術奬勵の大切なる所以にして其奬勵法の普通なる者二樣あり

第一完全なる美術館を設くる事あり蓋し西洋の美術館は其種類固より區々にして例へば佛國ルーブル宮の繪畫室ルキセンボルグ宮の美術館若くは伊太利ウフチガンなる羅馬法王の美術陳列所の如き往時國王法王等が累代相集め相傳へて今日に至りたる者にして其規模の宏大なる固より言を待たず又彼の英國のナショナルコーヲアムの如きは中央政府の力を以て時々名品を購入し其維持一切の費用を辨ずるの趣向にして是より以下は府立あり又私立あり或は名家の珍品を一般公衆に示さんとて之を或る美術館に寄賦し若くは之を貸與すれば美術館にては其品に何人より寄賦されたり又は借用したりとて其來歷を明記するのみならず美術館案内書中にも一々之を表出するが故に人々進んで其品を出し縱貧逸品一處に集まり美術工藝の士人翌は因て以て先輩の用意技術を窺ふべく世上一般の人々は因て以て其美術心を養ひ欽仰景慕の念を增し溫故知新の功を加ふるとを得べし

第二節畫なる美術院を設くる事なり英國には ロヤルアカデミーと稱する美術院あり是は佛國サロン（或はパレード インダストリとも云ひ美術品展覽館なり）の仕組に因りて多少の取捨を加へたる者にして每年五月の初より國中美術家の出品を集めて其展覽會を開き進年評判よき出品者をばアカデミー會員の撰を以て之を準會員に列し四十名の本會員中遞て欠員を生ずるを待ちて順次之を本會員に爲すの趣向にして準會員たり將た本會員たるの榮譽は當に榮譽のみならず其手に成りたる美術品其物も光を放ちて實物の報酬を增加するの實あるが故に例年の出品者は爭ふて其丹精を極むるとにして美術奬勵上最も有効なる者なりといふ

右の二節條は美術奬勵上最も普通なる者なれども我國にては往時財產權固からずして名品逸物動もすれば權門の奪ふ所と爲り或は盜火難に罹るを恐れて常に之を秘匿したる時の遺風を守り古人畢生の丹精を暗室私藏に禁錮して之を美術館等に出すを好まず隨て完全なる美術館を設けんとするの意なきもの〻如し又近頃の風潮にて繪畫共進會は連年開設の運びに至りたれとも本來その美術家がロヤル　アカデミーの如き仕組を設けて身の貴きを敬すと同時に其會員に列すれば名譽は勿論、其美術の價格上に大影響を及す等の奬勵法あるが故に彼の繪畫共進會も格別の効用なきもの〻如し還俗あり之を云ふ可し日本は東洋の美術國にして其美術を美術として愛惜を賜するのみならず之を高貴の商品に適當して其宜を得るときは美術奬勵の効空からず實に一國の富入を增加す可きの望あるが故に或は完全なる美術館を設け或は帝室の盛光を假り或は好美術家の助力を假り世間一般、其物を重んじて其人を敬し以て斯道の發達を謀らざる可らず樹木は之を培養せざる處に繁茂せず美術は之を珍重せざる處に發達せず今日佛國が美術を以て天下に冠絕するの勢あるも常に其美術を珍重するが故にして千八百七十年普佛の戰爭正に收まり佛國は五十億フランクの償金を拂はんとする折柄、伊太利有名の油畫を賣らんとするものあり佛國政府は時の國會議院に附するに之を購求す可きや如何の問題を以てしたるに佛國富實の根本は實に美術上の工藝に在り目前の急に狼狽して其富源を養ふ可き無比の良品を擯棄するは國の長計に非ざるなりとて凡そ三十萬フランクを出して之を購求するに決したりと云ふ當時の事情より考へて佛國人の心事を推せば其美術を重んずるの念慮、殊勝にも又頗丹しからずや今世の人動もすれば觀を爲して日本の美術は衰退して復た起つ可らずなと云ふ者あれども世に千里の馬あきを患へず唯伯樂あきを患ふ云々の本文に違はず天下決して大美術家なきを患へず國家大美術を要するとあれば需要に應じて輒起す可き者あるや疑を容れず彼の有名なる狩野家の如きも德川家並に諸大名が宮殿城闕の障壁を開て其手腕を揮はしめたればみそ始めて大に其力を顯はしたるなれ即ち德川の世に發達したる我日本の諸美術は全く地に墜ちたるに非ず名品を需用する者さへあれば名工は次第に出で來り維新以來一時凋零したる美術の枯木に再び花を發せしむると決して望みなきに非ず我輩は我國の爲めに謀り又斯道の爲めに謀りて其此くの如くならんとを願はるものなり

雜報

○獨逸陸軍の大改革　獨逸陸軍の將校中には老年の者多く何れも曾屢々戰場に出で〻武功を奏したる士なれども從來の戰爭は猶ほ古式を脫せずして當今の兵學戰術に合はざるみと少からず彼の普佛戰爭以來僅々の年月間にさへ著しき進歩發達を兵法上に現はしたるが故に老將校は今日や戰に臨んで充分の指引をなす能はざるべしとの飯意にて數十名の老將に非職を命じ更に若手の士官を登用したり又同國にては是まで四大隊を以て一聯隊を編成せしが今度之を改め三大隊を以て一聯隊となすに至りしは二軍團を增加するが爲めにて此大改革を斷行せしは今帝ウイルヘルム二世の意見に出でしものなりと云ふ因に記す曾て我陸軍大學校の教授なりしメッケル氏は大佐に昇進して第二十八聯隊長に補せられブランタンブルヒ、ヴヒルデンブルヒの兩氏は中佐に進みブ氏は聯隊附に、ヴヒ氏は參謀本部の局長に任せられたるよし

○東北七州臨時委員會　東北七州の大同盟が組織せる東北七州會は本年五月中秋田縣秋田に於て開く筈なりしも國會議員撰擧の準備等にて各地一般に有志家の多忙なるに付き七月迄開會を延期せしが近頃又政海の模樣穏かならず益々七州の團結を堅ふして前途進行の方針を定むべき必要に迫りしとて來る六月一日を期し宮城縣仙臺に於て東北七州臨時委員會を開き一縣より二名以上の委員を出席せしむるやう其發起者なる河野廣中平崎盛尾以下七名の諸氏より各縣の有志者へ案内に及びたるよし

○富岡熊本縣知事告訴せらる　本年二月熊本縣會議員半數改選の際調査掌より選出せし天草郡の議員大谷高寛氏が（寄留地明治廿三年五月廿六日　月曜日　舊曆庚寅四月八日（丁未）　日出午前四時十分　入午後六時四十分　月出午前十時三十二分　入午後　朔望午前九時五十六分　午後十時三十一分　（西曆一千八百九十年）

天草郡より撰擧）自治談話會員中西氏が不當を論じ富岡縣知事に非難の取消す限りに服せざるに依り兩氏は之に服せざれば同縣を告訴せしかば同縣知事は左の五條を以て告訴せらるるよし

一末寺々院の子所に入り以て僧侶たらしめ僧侶たらしめられ度事

一兵營并に監獄に於て之を開設の歌謠を擔任せしめ一宮者をして當に其德義を奬勵せ一殖產中興策を講じ一衛生上又經濟上の大利益ある火葬場設置事

○佛教者の建言　佛教者の建言せしものなりとて曾て長文の

○外國米格付編入　米商會所にて格付は何れ米保存の實際調査や將た該米を左

第一、米商會所
第二、
第三、
第四、
第五、
第六、
西貢米

○富山縣の農況　麥作は播種以來氣候に養育せしも今麥は出穗に際して麥に蔓延し去る十日水澤は本月二日より云ふ

○救助の見合せ　云へど實際に於て

されば

或は

ね然る後實地の

得を與へ定めの

は飯を惠與する手

の多き町々は小田

町、八丁堀、

至るものとては